

二〇二二年度 和光高等学校推薦入試 作文問題

次の文章を読んで問に答えなさい。

今では、電車に乗ると、ほとんどの人がスマホを眺めています。昔は本を読んでいたりと、隣の人に気を使いながら新聞を広げている人もいたのになあ、と思います。通学や通勤の時間、身動きがとれない状態のとき、人と他人の邪魔にならないようなことをしたいと思います。昔はそれが読書や新聞でした。それがスマホに代わったのは、スマホがメディアに
とって代わったからです。スマホを使えば世界とも仲間ともつながっているという感覚が保てます。それが実はスマホが普及した一番の大きな理由なんじゃないかと思えます。

でも本当の意味で人々は世界とつながっているんだろうか。今、人々をつなげているのは情報です。情報を取り損ねたら、読み間違えたらつながりが切れてしまう。そういう不安に駆られて人々はスマホに頼ります。だけど、人々はそうしてつながっていることに安心感や充足感を覚えているんだろうか、と気になります。

(山極寿一「スマホを捨てたい子どもたち」より一部改)

問 傍線部の筆者の意見について自分の考えを書きながら、あなたにとって「人とつながること」とはどういうことかについて自分の経験を交えて説明しなさい。字数は500字以上600字までとする。

【採点基準】

- 1、字数が足りていない。
- 2、字数は足りているが、傍線部分についての具体的な記述がない。
- 3、筆者の意見に対して経験を交えながら自分の意見が書けている。
- 4、3を満たした上で、筆者の問題意識についてふれながら自分の意見を展開している。
- 5、4を満たした上で、さらに表現を含め説得力のある文章を書いている。